

大好き図書館！ 2019夏休みイベント

夏休みイベントの参加者を募集します。電話又は窓口でお申し込みください。（先着順）
※その他のイベントは別途配布するチラシや図書館だよりをご覧ください。

①自分だけのジグソーパズルを作ろう

とき 8月3日(土)
午後2時～4時
ところ 淡窓図書館2階 研修室
対象 小学3年生以下
募集数 20人

②自分の生まれた日を調べてみよう！

とき 8月4日(日)
午後2時～4時
ところ 淡窓図書館2階 研修室
対象 小学生
募集数 10人

③親子としょかんクッキング！

とき 8月10日(土)
午前10時～午後1時
ところ ウェルピア 調理室
対象 小学生とその保護者
募集数 親子10組20人

④牛乳パックでモバイルカモを作ろう

とき 8月11日(日)
午後2時～3時30分
ところ 淡窓図書館2階 研修室
対象 小学4～6年生
募集数 20人

募集期間
7/10(水)～
(定員になり次第締切)



新刊情報

初恋さがし
真梨幸子／著
新潮社



所長も調査員も全員が女性、「ミツコ調査事務所」の目玉企画は「初恋の人、探します」。甘酸っぱい思い出の向こう側に待つものは。他人の不幸は甘い蜜、という思いを、心のどこかに隠しているあなたに贈る、イヤミス極地点。
※イヤミス…イヤな気持ちになるミステリー。

おいでよ！ おはなし会

- とき
7月13日(土)
午後3時～
7月27日(土)
午前11時～
- ところ
児童コーナー

7月の休館日（○…休館日）

日	月	火	水	木	金	土
	①	2	3	4	5	6
7	⑧	9	10	11	12	13
14	15	⑬	17	18	19	20
21	22	23	24	⑮	26	27
28	29	30	31			

コラム

心の架け橋

病院の待合室で長時間待たされた～聴覚障がいの方の事例～

聴覚障がいの方が体調を崩し、病院を受診しました。受付で、聴覚障がいであることをメモで伝え、診察を待ちましたが、いくら待っても診察の順番が回ってきませんでした。受付に筆談で尋ねると「何度も名前を呼んだが返事がないため、次の人に順番を回していた」とのことでした。結局、長時間待たされた診察となりました。

- 合理的配慮（それぞれの配慮と対応の仕方の一例）
障がいのある人が、ない人と同様に、必要な時に必要な情報を手に入れることができなければいけません。他の患者と同じように、診察の順番の情報を受け

取れるように、音声以外（筆談やジェスチャー等）で順番を伝えることが必要です。

聴覚障がいの方には、全く聞こえない、聞こえにくいなど、人によって聞こえ方が違います。補聴器を使っているとしても、雑音の中での聞き分けは難しく、間違えて聞き取ってしまうこともあります。

病院の待合室などの、広くて人が行き交う場所での呼び出しは、掲示板での呼び出し案内や、職員がその人の所へ行き、目に見える形、若しくは肩をそっとたたかなどして、声をかけるなどの配慮が必要です。

☎ 社会福祉課障害福祉係 ☎ 8290（市役所1階）

世界遺産登録を目指す「咸宜園」 - 近世日本の教育遺産として - (人物編 菅茶山)

淡窓・咸宜園と交流のあった文人・墨客たち④

☎ 世界遺産推進室 ☎ 0268（咸宜園教育研究センター内）



漢詩人でもあった廣瀬淡窓は、菅茶山・頼山陽と並び江戸時代後期の三大漢詩人として知られています。淡窓はこの二人とも交友がありました。茶山は淡窓より34歳ほど年上で、淡窓が漢詩文を学んでいた頃はすでに有名な漢詩人でした。淡窓は27歳の時に、茶山と親しいという人に依頼して、自分の漢詩数十首の批評を茶山に乞うて以来、文通での交友が始まりました。

茶山は、備後国神辺（広島県福山市）出身の漢詩人・儒学者で、京都・大坂で学んだ後、故郷に帰り「黄葉夕陽村舎」という私塾を開きました。漢詩集「黄葉夕陽村舎詩」を刊行して有名となった後、福山藩儒官を務め、塾の名称を「廉塾」に改め、藩の郷校としています。

茶山の漢詩は、詩材を身近な生活に求めた写実的な宋詩風の詩で、それまで日本で広く行われていた唐詩風の詩風を一変させたと言われています。淡窓の回想によると「15歳の時に茶山の名を聞いたが、唐詩風の詩を学んでいた私は異端の詩だと思っただけで専ら誦していたのが、福岡の亀井塾でその優れた詩風を知り、22歳頃から宋詩を本格的に独学して宋詩風を愛するようになり、27歳の時に茶山に自分の詩の批評を乞うたのだ」と述べています。淡窓が46歳の時、養子の謙吉（旭荘）が四国讃岐の金毘羅宮に参詣し、その帰りに神辺の茶山を訪ねました。

これは、淡窓44歳の大病の時に遙かに金毘羅宮に願をかけていたので御礼参りに行かせたのです。謙吉は茶山を訪ねて2か月あまり滞在しますが、その時茶山は80歳で重い病の床にあり、謙吉は毎夜病床に看侍して話相手になり家族皆から感謝されたといわれています。茶山からは淡窓に「令息来訪、その才気驚くに堪へたり。暫く滞留あるべき由、拙塾の光華これに過ぎたるはなし」と便りがあっています。

また備中備前を遊歴する謙吉のたのめ紹介の中に「此の人年少といえども詩才と談論は当世無双なり」と添え書きしてあったといえます。程なくして茶山は亡くなりますが、謙吉に言付けて形見の硯を淡窓に贈っています。淡窓は「此の人、極めて人の善を称し人の美を挙ぐ。余、名を山陽以東に伝ふることを、此の人の悠揚によること多し。師弟の名なしと雖も、知己の遇、思はずんばあるべからず」と深い感謝の言葉を述べています。

なお、淡窓が45歳、大病が癒えた後に心機一転のため新しい書齋を建てたとき、以前茶山に乞うて書いてもらった「淡窓」という扁額を掲げて書齋の名としたとあり、この頃から一般に「淡窓先生」と呼ばれるようになったとされています。



「菅茶山肖像画」
原資料：重要文化財 菅茶山関係資料
提供：広島県立歴史博物館

食生活改善推進員さんのおすすめレシピ

トマトときゅうりのさっぱり和え

水分とビタミンがたくさん含まれたみずみずしい夏野菜は、夏バテや熱中症予防にもおすすめです。野菜をしっかり食べて、蒸し暑い日夏の夏を元気に乗り切りましょう！



■材料■（2人分）
ミニトマト 40g（4個程度）
きゅうり 50g（中1/2本程度）

<作り方>

- ①ミニトマトはへたをとって縦半分に切り、きゅうりは1cm幅の半月切りにする。
- ②ボウルに調味料を全て入れて、よく混ぜる。
- ③ミニトマトときゅうりを②のボウルに加え、ミニトマトをつぶさないように、よく混ぜる。
- ④冷蔵庫で30分ほど冷やすと、味がなじんでよりおいしく食べられます。

砂糖 小さじ1 しょうゆ 小さじ1
すりごま 小さじ1 酢 小さじ2

☎ 健康保険課健康支援係 ☎ 3000（ウェルピア内）